

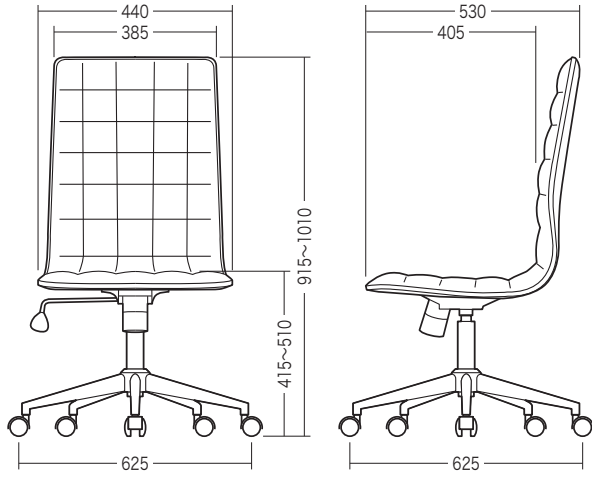
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立てください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

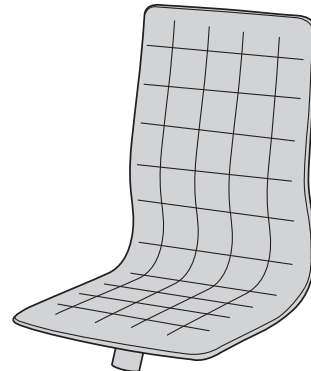
★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図



組立て部品

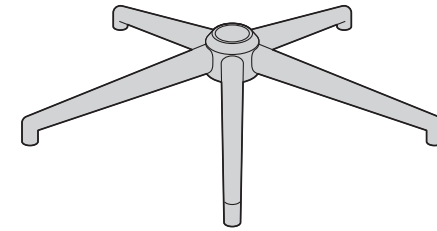
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-SNC027BKなど)と
下記の部品番号①～④と部品名(キャスターなど)をお知らせください。



①チェア本体×1個



②ガスシリンダー×1本

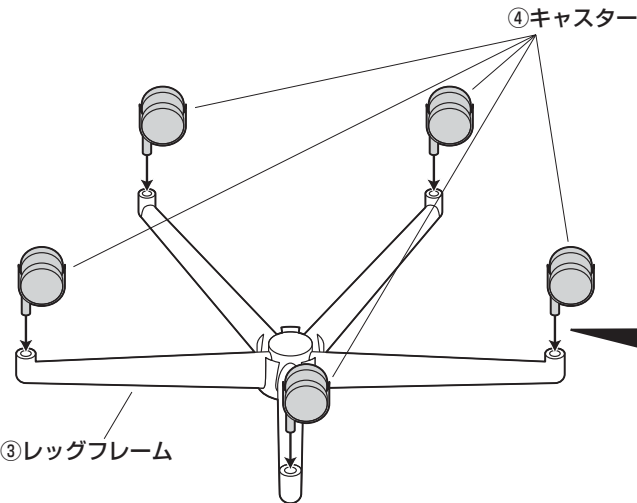


③レッグフレーム×1個



④キャスター×5個

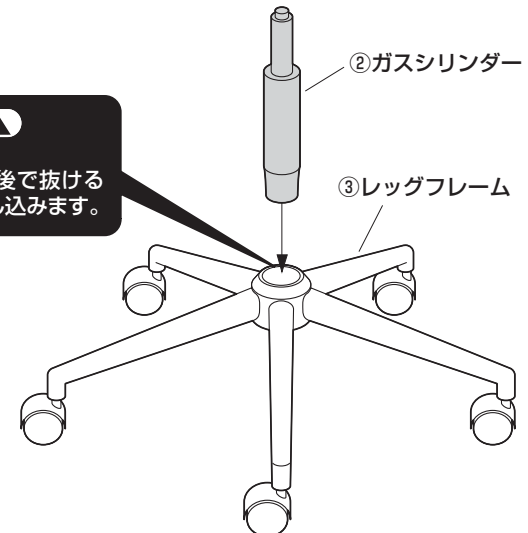
1 レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。



▲ 注意 ▲
それぞれのキャスターは全
て押し込み式です。(手では
めこむ)奥まできちんと差し
込んでください。

2 レッグフレームにガスシリンダーを差し込みます。

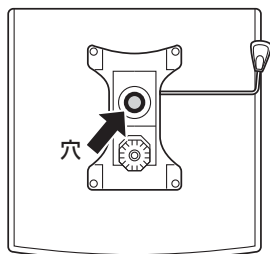
▲ 注意 ▲
ガスシリンダーが後で抜ける
事の無い様に、押し込みます。



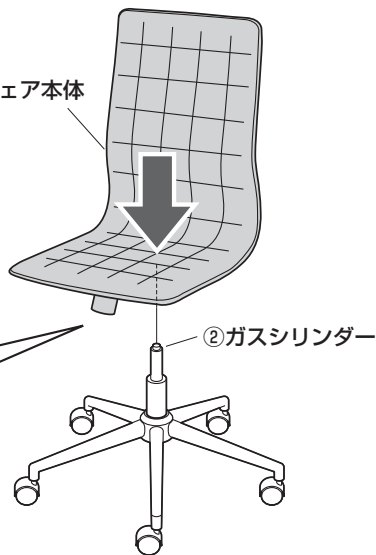
3 ガスシリンダーにチェア本体を差し込んで完成です。

下から見た図

チェア本体の裏側の穴に差し込みます。



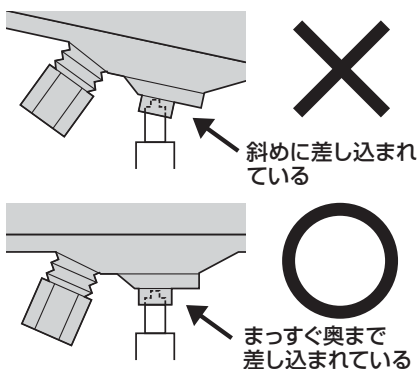
①チェア本体



②ガスシリンダー

注意

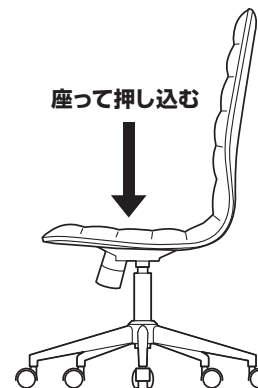
チェア本体をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。チェア本体が斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
 ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
 ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
 ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

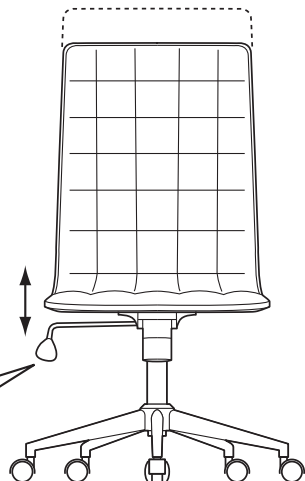
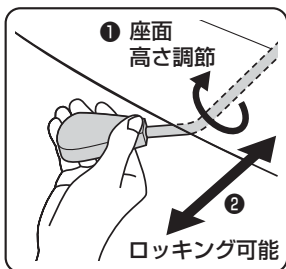
各部の調節方法

注意

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

①レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

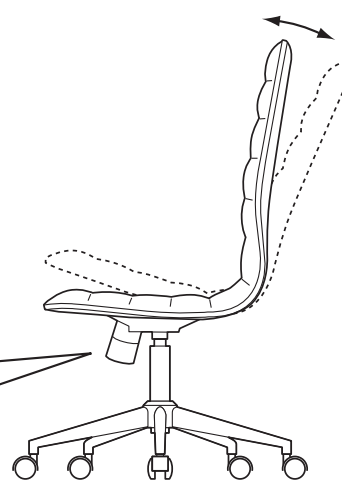
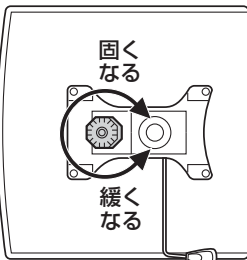
②レバーを外側に引き出すと、ロッキング機構が働き、差し込むと固定されます。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。

前 ←



チェアの品質表示

外形寸法：幅625×奥行625×高さ915～1010mm（座面高さ415～510mm）
 構造部材：座部、背もたれ部/合板、ウレタンフォーム
 脚部/スチール キャスター部/ナイロン樹脂
 張り材：ポリウレタンレザー クッション材：ウレタンフォーム

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。